

(工学部・工学研究科)  
2016年度生命保険協会留学生奨学金の募集

2015. 10. 28

1 応募資格・・・以下のすべてに当すること

- 1) アジア地域諸国(インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、香港、マカオ、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ラオス)の国籍を有する私費外国人留学生(在留資格「留学」)。
- 2) 2016年4月に、学部正規課程3年に進級または、大学院修士課程(博士課程前期)に進学する者(入学が確定している者を含む)。
- 3) 学業・人物ともに優秀であり、かつ健康である者。
- 4) 金融業界、特に生命保険に関心のある者。
- 5) 日本語でコミュニケーションが可能な者。

2 奨学金の金額・期間

月額10万円 2016年4月から2018年3月までの2年間

3 推薦人数 1名

4 提出書類

- 1) 願書(別紙様式1、写真貼付 日本語で記入すること)  
※パソコン入力可ですが、自筆部分は手書きのこと。印刷は片面印刷。
- 2) 平成26年度および27年度前期までの成績証明書  
入学予定の者は、上記に加えて合格通知書(写し)又は入学許可書(写し)
- 3) 在籍証明書、経済状況調書(平成27年10月1日現在)
- 4) 私費外国人留学生身上調書(指定用紙)
- 5) 家計状況申告書(指定用紙)
- 6) 指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)(指定用紙・厳封)  
\*4)~6)は、2015年10月以降に、他の奨学金応募ですでに提出したことがある場合は不要。

7) 推薦書(別紙様式2)

\*7)は、工学研究科から推薦が決まったら提出。パソコン入力可ですが、要押印。

5 申請書類の提出先

工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟3F)

6 締切日 平成27年11月25日(水)

# 平成 28 年度 生命保険協会留学生奨学金 (セイホスカラーシップ) 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、一般社団法人生命保険協会のご支援により、「生命保険協会留学生奨学金」の平成 28 年度受給者を、下記により募集する。

## 記

### 1. 目的

アジア諸国及び地域からの私費留学生に対して奨学金を支給し、日本での勉学への支援を通じて、日本と出身国との相互理解と友好・親善の増進に寄与することを目的とする。

### 2. 奨学金の寄付者および寄付の趣旨

本奨学金の寄付者である一般社団法人生命保険協会(以下「寄付者」という。)は、設立 80 周年記念事業の一環として奨学金制度を設立し、平成 2 年度から平成 23 年度まで経団連国際教育交流財団を通じ 339 名の留学生を採用したが、平成 24 年度中に経団連国際教育交流財団よりこの奨学金制度が寄付者へ返還されることとなり、留学生への支援を継続するため、新たな奨学金制度の設立を目的として本協会に資金を提供された。

### 3. 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) アジア諸国及び地域\*の国籍を有し、平成 28 年 4 月に日本国内の大学(以下「大学」という。)の学部正規課程 3 年次に進学または、大学院修士課程 1 年次に進学する私費外国人留学生(留年者を除く)。日本国内の大学は、寄付者と協議の上選定した指定校制とする。また、在留資格は留学であること。
- (2) 本奨学金の受給期間中、日本国以外に留学する予定がなく、他の奨学金を受けない者[貸与型(返済が必要なもの)奨学金、学位免除及び一時金は除く]。  
なお、これまでに本奨学金を受給したことがある者、および以前応募したが選考で不採用となった者は、対象外とする。
- (3) 学業・人物ともに優秀であり、かつ健康である者。
- (4) 留学の目的又は計画が明確で、修学の効果が期待できる者。
- (5) 日本語による意思伝達が可能な者。
- (6) 金融業界、特に生命保険に関心のある者(在籍する大学での専攻分野は問わない)。なお、卒業後に金融業界または生命保険業界への就職を希望する者を優先する。
- (7) 経済的援助を真に必要とする者。  
\* 「アジア諸国及び地域」とは、インド・インドネシア・韓国・カンボジア・シンガポール・スリランカ・タイ・台湾・中国・ネパール・パキスタン・バングラデシュ・フィリピン・ブータン・ブルネイ・ベトナム・香港・マカオ・マレーシア・ミャンマー・モンゴル・ラオス とする。
- (8) 在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

### 4. 採用人数

8 名程度

### 5. 支給内容

月額奨学金 10 万円

### 6. 支給期間

平成 28 年 4 月より平成 30 年 3 月までの 2 年間(ただし、大学における在籍期間中に限る。)

### 7. 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者(以下、「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。
- (2) 大学の長は、3に挙げる応募資格に該当する者(学部生、大学院生合わせて2名まで)について、8に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。

## 8. 応募・推薦書類

- (1) 願書(別紙様式 1。日本語で記載されたものに限る。) 1 通
  - (2) 応募者の写真(最近6カ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) 1 葉
  - (3) 推薦書(別紙様式 2、推薦理由は指導教官等が記入すること。) 1 通
  - (4) 学業成績証明書(在籍する大学における平成 26 年度及び 27 年度前期までのもの) 1 通
- ※日本語以外で記載されたものについては和訳を添付すること。

## 9. 応募・推薦書類の提出期限

平成 27 年 12 月 15 日(火)必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備がある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

## 10. 選考方法及び結果の通知

理事長は 7 の(2)により推薦された者について寄付者とともに選考を行い、受給者を決定する。結果は平成 28 年 2 月下旬を目途に在籍する大学を通じて通知する。なお、必要に応じて面接を行う。

## 11. 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

## 12. 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金受給期間中の学習・研究状況等を、別に定める様式により、大学を通じて理事長に報告しなければならない。
- (2) 受給者は、住所・連絡先及び所属先(大学、就職先等)に変更があった場合、本奨学金受給期間中は大学を通じて、受給終了後は直接本協会へ遅滞なく届け出なければならない。
- (3) 受給者は、年 1 回開催される報告会(6 月頃)に出席し、受給期間中の学業成果または卒業後の進路について報告をしなければならない。

## 13. 奨学金給付の休止または終了

以下のいずれかに該当した場合には、奨学金の給付を休止または終了する。

- (1) 在籍する大学の学籍を失った場合。
- (2) 給付期間中にこの要項の定める事項に該当しなくなった場合。
- (3) 病気その他の理由により休学、または長期欠席・留年等となった場合。
- (4) 在籍する大学において懲戒処分を受けたり、学業成績または素行が著しく不良となった場合。
- (5) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合。
- (6) 受給者の義務を遵守しない場合。
- (7) その他受給者として相応しくないと判断された場合。

## 14. その他(注意事項等)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13 に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金受給生として採用された場合、他の奨学金の受給を目的として辞退することはできない。

## 15. 個人情報の取扱い

応募・推薦書類上の個人情報は、本協会の実施する学生支援事業のみに利用し、その他の目的には利用しない。

## 16. 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人 日本国際教育支援協会 国際交流課  
〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29  
TEL:03-5454-5274 FAX:03-5454-5242 E-mail:ix@jees.or.jp

以 上

# 経済状況調査書

Economic Status Report

部局 確認欄	
-----------	--

<b>奨学金の受給歴</b> Scholarship History (受給予定のものを含む) (Include prospective scholarships)	名称 _____ (月額 _____ 円) Name _____ Monthly amount _____ 受給期間 : _____ 年 月 ~ _____ 年 月 Beneficiary period _____ From _____ To _____ 名称 _____ (月額 _____ 円) Name _____ Monthly amount _____ 受給期間 : _____ 年 月 ~ _____ 年 月 Beneficiary period _____ From _____ To _____
<b>経済状況</b> Economic Status	※ 1ヶ月平均・世帯生計を記入のこと ※ Average monthly household budget 収入 _____ 円 Income _____ 【内訳】 仕送り _____ 円 Breakdown Remittances from home _____ 自己資金 _____ 円 Self-financed _____ アルバイト _____ 円 Part-time jobs _____ TA・RA _____ 円 TA・RA _____ 奨学金 _____ 円 Scholarship _____ その他 _____ 円 (内訳 _____ ) Other _____ Breakdown _____ 同居の配偶者等の収入 Income of spouse living with you アルバイト _____ 円 Part-time jobs _____ TA・RA _____ 円 TA・RA _____ 奨学金 _____ 円 Scholarship _____ その他 _____ 円 (内訳 _____ ) Other _____ Breakdown _____
<b>宿 舎</b> Housing	家賃月額 _____ 円 Monthly rent _____ <input type="checkbox"/> 国際交流会館 <input type="checkbox"/> ユニバーシティ・ハウス International House University House <input type="checkbox"/> 企業等の社宅 <input type="checkbox"/> 県・市営住宅 <input type="checkbox"/> 民間アパート・住宅 Company housing Prefectural and municipal housing Private apartments and housing <input type="checkbox"/> その他 ( _____ ) Other _____
<b>授業料</b> Tuition	本年度前期分 1st semester this year <input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除申請中 Total exemption Half exemption Exemption pending 本年度後期分 2nd semester this year <input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除申請中 Total exemption Half exemption Exemption pending <input type="checkbox"/> 自己負担 _____ 円 Self-financed _____
<b>総長特別奨学生</b> President Fellowship	<input type="checkbox"/> 総長特別奨学生です <input type="checkbox"/> 総長特別奨学生ではありません I have a President Fellowship scholarship I do not have a President Fellowship scholarship ※総長特別奨学生で民間奨学金に採用された方は、授業料免除申請を取り下げなければならない 場合がある為、各学部研究科奨学金担当係に確認して下さい President Fellowship scholars who are also selected to receive private scholarships may be required to withdraw their exemption applications. Please inquire with the staff in charge of scholarships at your graduate school.
上記のとおり相違ありません。 _____ 年 月 日 I certify that the above information is correct and accurate. _____ Date 学籍番号 _____ 氏名 _____ Student numbers _____ Name _____ 署名 _____ Signature _____	

注意) ・記載事項に虚偽が認められたときは、選考の対象としません。  
 Warning ・If any of the entered information is found to have been falsified, your application will be disqualified.

## 別紙

### 成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

## 留学生の皆さま

### 奨学金申請書の書き方、及び面接を受ける際の心得について

#### 奨学金申請書類について

- ・項目は全て記入すること。  
(特に記入することがない欄にも「なし」金額なら「0」等記入して下さい。)
- ・学部・研究科名は省略しないこと。
- ・黒ボールペンで記入すること。(消えるボールペンは使用しないこと。)
- ・事実に従って記入すること。(収入・支出について(見込みの場合は除く))
- ・わからない所は、指導教員または各奨学金担当部局担当係に問い合わせ願います。
- ・申請書の本人記入欄については、相手方に失礼のないように、少なくとも枠内の5~8割は記入するようにして下さい。
- ・最後に記入・提出書類の漏れがないか再度確認して下さい。留学生の皆さまが作成された書類で採否が判定されますので、内容が相手にしっかり伝わるよう明確に記入して下さい。申請書に事実と反することが書いてあると判定に不利となりますので十分注意して下さい。
- ・継続申請の際は、新たに願書を作成し前回のものを流用しないこと。

#### 面接について

- ・第一印象はとても重要です。最初と最後のあいさつはきちんとしましょう。また面接に相応しい服装(スーツ(ジーンズ厳禁)、男性はネクタイ着用)で臨みましょう。
- ・想定される質問(自己紹介、日本留学の理由、何を勉強・研究しているか、奨学金の使い方等)の練習をしましょう。  
奨学金申請書類は事前にコピーをとり、記載した内容についてはしっかり答えられるようにして下さい。たとえ難しい質問でも日本語の間違いを恐れず、一所懸命に自分のことを伝えましょう。
- ・面接会場の事前確認をし、集合時刻の遅くとも5分前には会場に着くようにしましょう。
- ・持ち物  
奨学金申請書類のコピー、筆記用具、手帳やノート、学生証、在留カード、ハンカチ、ポケットティッシュ(その他必要と思えるもの)

#### 採用後の心得について

##### 手紙・Eメールの出し方について

- ・すぐにお礼の手紙(またはEメール)を出して下さい。
- ・Eメールで連絡する場合は、用件のみではなくあいさつ・近況報告など相手に失礼の

ないよう注意しましょう。

#### その他

- ・交流会等財団が主催する会には必ず出席して下さい。
- ・問い合わせがあった場合は、自分の都合だけを考えず相手の立場にたち丁寧な対応を心がけましょう。
- ・総長特別奨学生で民間奨学金に採用された方は、授業料免除申請ができない場合があるので、必ず各学部研究科奨学金担当係に確認して下さい。
- ・留学生本人が直接応募または継続受給を希望し採用された場合は、その旨所属する部局の奨学金担当係へ必ず連絡して下さい。

皆さまは奨学財団にとって東北大学の代表者であることを自覚し、相手に失礼のない態度を心がけて下さい。

東北大学  
教育・学生支援部 留学生課  
国際教育係

\* 2015年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 私費外国人留学生身上調書

2015.10月現在

### 1. 身分・名前等

身分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員名	研究室 TEL	
氏名	(漢字 )			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学	年 月 卒業・修了			
東北大学で の移動 (新しい順 番に)	年 月 ~ 現在			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
住居 (○で囲む)	東北大学国際交流会館 三條ユニバーシティハウス 仙台第一国際交流会館 仙台第二国際交流会館 県・市営アパート(住所 ) 民間アパート(住所 )			

### 2. 家庭状況 (現在同居する者だけを記入してください。)

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

氏名	続柄	年齢	勤務先または学校名



\* 2015年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 家計状況申告書

在籍	学部 年	学籍番号	
	MC 年、DC 年、大学院研究生		
氏名			

### 家計状況

\* 2014年4月から2015年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

\* 2015年4月入学の方は、2014年10月から2015年3月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

\* 収入と支出の合計が同じになるように記入してください。

収入		支出	
自国の家族等からの送金	円	食費	円
奨学金(本人)	円	家賃	円
奨学金(同居家族)	円	光熱水料費	円
アルバイト(本人)	円	交通・通信費	円
アルバイト(同居家族)	円	その他	
貯金から	円 ( )		円
その他	( )		円
( )	円 ( )		円
( )	円 ( )		円
合計	円	合計	円

### 奨学金受給状況

\* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

\* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	

### 授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

\* 該当箇所を○で囲む

平成27年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成26年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成25年度	後期	全額免除	半額免除	<del>1/3免除</del>	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	<del>1/3免除</del>	申請したが不許可だった

## 指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)

この評価は、指導されている私費外国人留学生が各種奨学金へ応募する際に記入していただくものです。(2015年10月以降に、他の奨学金で既に提出済みの場合は不要です。)

- 1) 研究室内の他の学生を基準にして、相対的に評価をお願いします。
- 2) 評価はA・B・Cのいずれか、または、評価不能(指導して日が浅い場合など)を該当欄に○印をお願いします。

留学生氏名: \_\_\_\_\_

所 属: \_\_\_\_\_ 学科・系 \_\_\_\_\_ 年次・研究生  
\_\_\_\_\_ 専攻・前期 \_\_\_\_\_ 年次・研究生  
\_\_\_\_\_ 後期 \_\_\_\_\_ 年次・研究生

評価	成績評価内容
	A(非常に優秀)
	B(優秀)
	C(良好)
	評価不能

\* 評価不能の場合、その理由を記入ください

理由:

\_\_\_\_\_

平成 年 月 日

記入者(指導教官、クラス担任等)

所属 \_\_\_\_\_  
官職 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_ 印